



四日市市自治会連合会

四自連だより

発行

H30年10月31日発行

[編集・発行]

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第20号



ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

四日市市自治会連合会の皆様におかれましては、地域において自治会活動にいろいろとご尽力賜っておりますこと、心からお礼申し上げます。

さて、みなさんもお存知のとおり、今年は6月に大阪府北部地震、7月に西日本豪雨等の、度重なる台風による被害、9月には、北海道胆振東部地震等の自然災害が多発し、報道を見る限りでは、元通りの生活に戻ることが出来ないでいる方がまだまだ多いようで心が痛みます。

当自治会連合会でも、7月の西日本豪雨災害の義援金を募り、自治会員の皆さま方にご理解、ご協力していただき多くの義援金が集まってきております。

他人ごととは思えないとご協力いただきましたことを、この場をお借りして、お礼申し上げます。

月日を重ねてまいりますと、どうしても記憶や教訓が風化され、危機意識が薄れていきますが、将来、起こりうるであろう南海トラフ巨大地震に備え、今一度災害に対する危機管理意識を高めていけるよう、日頃から、地域で開催している防災訓練等に参加していただきますよう、お願い申し上げます。

孤立死などに象徴される「無縁社会」の広まりや、核家族化、周囲の家に対する無関心等に反して大規模災害を危惧する声は高まり、改めて「地域の絆」の大切さが叫ばれています。

日々の生活の中で最も身近なコミュニティといえ、自治会ということになります。有事の際には、向こう三軒両隣の自治会が地域で必要な助け合いを速やかに行うことで被害を最小にとどめていくものと思われまます。

しかしながら自治会そのものは全国的にみても、自治会加入率の低下、自治会長の後継者問題等、組織における課題も山積しているのが、現状です。

地域に住む人たちが、お互いに協力しあい、地域貢献し、地元への愛着を持つことが、すべての解決に繋がっていくのではないかと思います。

今後も、四日市市自治会連合会として、多種多様な活動を行い、安全・安心で、快適な住みよいまちづくりのため、努力していきますので、よろしくお願い申し上げます、私の挨拶とします。

四日市市自治会連合会総会

5月30日(水) じばさん三重にて総会が行われました。

森市長・加藤副議長からご挨拶を頂き、事業報告、決算報告、新役員の選出、事業計画、予算等の審議を致しました。

総会後は、行政幹部の施策説明会が行われ30年度の施策等の紹介がありました。

役員人事

会長	水谷 重信 (海蔵地区)
○副会長	藤谷 克彦 (下野地区)
副会長	中村 克義 (楠地区)
副会長	佐藤 敏明 (羽津地区)
副会長	小松 茂久 (県地区)
副会長	里中 俊雄 (小山田地区)
副会長	安田 和郎 (中央地区)



第20号のおもな内容

- 三重県自治会連合会 総会 P2
- 市内視察研修 P3,4,5
- タウンミーティング P6
- 自治会加入促進条例の要望書を四日市市に提出 P7
- 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)義援金の協力について P8
- 避難行動について考えてみませんか? P8

三重県自治会連合会 総会

7月9日（月）に三重県自治会連合会総会が亀山市で行われました。

今年度の三重県「自治行政並びに社会福祉等功労者」の被表彰者138名のうち、四日市支部から34名の方が表彰されました。

《平成30年度 自治行政並びに社会福祉等功労者の被表彰者》

日赤表彰（3名）	
浜田地区	寺前 宗明
常磐地区	稲垣 正文
小山田地区	里中 俊雄
社協表彰（6名）	
浜田地区	芝浦 莞爾
三重地区	井垣 政次
桜地区	伊藤 隆夫
常磐地区	辻山 忍
四郷地区	前田 義文
楠地区	須藤 隆士
共募表彰（22名）	
共同地区	森 展男
浜田地区	長谷川潤一
橋北地区	服部 浩明
橋北地区	森 敏夫
海蔵地区	矢橋 一郎
羽津地区	正岡 茂
富田地区	田中 久幸
三重地区	国府 正信
桜地区	橋川 淳
常磐地区	川瀬五十六

常磐地区	高島 昭仁
四郷地区	伊藤 哲
四郷地区	井上 詔明
四郷地区	小多田幸則
四郷地区	新原 慎一
四郷地区	吉田 力
水沢地区	小粥 吉美
日永地区	小西 和夫
日永地区	森下 國男
塩浜地区	岡田 清司
塩浜地区	森 幸次
内部地区	坂崎 征宏
会長感謝状（3名）	
水沢地区	堤 武
同和地区	佐藤 昭慈
神前地区	佐藤 房雄



医療法人 尚豊会 みたき総合病院

標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、緩和ケア内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科

診療時間 午前／9時00分～正午 午後／4時00分～6時00分

休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

住所 〒512-0911 四日市市生桑町菰池458番地1

電話 (059) 330-6000

URL <http://mitakihp.jp/>

Recruitment of bus drivers

三重交通ではバス運転手を募集しています。
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

三重交通株式会社

人事部 運転士採用係 0120-351-179 (平日 9:00～17:00)

市内視察研修

- 視察内容
- 北消防署北部分署・拠点防災倉庫
三重県広域防災拠点（北勢拠点） 見学
 - 久留倍古代歴史館 見学
 - 霞4号幹線 バスにて走行
 - 霞ヶ浦テニスコート 見学

9月20日(木)、生憎の雨の中、北消防署北部分署・拠点防災倉庫、三重県広域防災拠点(北勢拠点)、久留倍古代歴史館、霞ヶ浦テニスコートを視察研修いたしました。

今年の視察先はすべて新しくできた施設で、訪れたことがない連合会長が多く、周知することができました。

また、道中少し迂回し、霞4号幹線「四日市・いなばポートライン」をバスで実際に走行しました。

【北消防署北部分署・拠点防災倉庫 見学】

四日市市消防本部では、火災出動や救急出動における現場到着時間の短縮を図るため、

市内中村町地内に北消防署北部分署を建設しました。消防車と救急車を配備し、平成30年4月1日から運用。北部拠点防災倉庫を併設し、大規模災害発生時には消防署と協力して支援物資等を配布する防災ハブ拠点となります。また、屋上に24時間365日運用できる屋上ヘリポート（飛行場外離発着場）を整備しています。



【三重県広域防災拠点（北勢分署） 見学】

大規模な災害が発生した場合には、自衛隊や消防、警察などの救助機関や、DMAT（災害派遣医療チーム）、ボランティアなど多くの応援が必要です。また、全国から多くの救援物資が届けられ、なるべく早く被災者のもとへ届ける必要があります。

このような応援部隊が活動できる場所、救援物資を受け入れる場所といった災害対策を行うた

地域の方の健康増進ならびに
高齢者福祉に貢献します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
四日市羽津医療センター
(旧 四日市社会保険病院)
四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000

北勢地域若者サポートステーション
就職におけたサポートをしています!!

- 対 象 / 15才～39才までの無業状態にある方、ご家族・関係者も利用できます
- 相 談 日 / 火曜日～土曜日
- 開所時間 / 9:30～18:00
- お問い合わせ・お申し込み / TEL 059-359-7280 又は 7281
- 住 所 / 三重県四日市市諏訪栄町3-4 星座ビル2F
- E-mail / wakamono@hokusapo.com
- ホームページ / http://hokusapo.com
- 定 休 日 / 日・月・祝日、年末年始
- 運営団体 / NPO法人市民社会研究所



めの場所は『防災拠点』と呼びます。このような場所は、災害が発生してから確保しようとする
と対応が遅れるため、予め確保しておくことが重要です。

特に、大規模災害に対応できるような『防災拠点』を『広域防災拠点』と言います。市町を越
えるような災害応急対策活動で必要になるため、県内には、5か所の拠点施設があり、北勢拠点は、
四日市市、桑名市、いなべ市、木曾崎町、朝日町、川越町、東員町、菰野町のエリアを管轄しています。



【久留倍古代歴史館 見学】

大矢知町にある「久留倍官衙遺跡」は、一般国道1号
北勢バイパス建設に伴う発掘調査で、飛鳥時代から
平安時代におよぶ朝明郡の役所跡（大海人皇子や聖
武天皇が立ち寄ったとされる）が見つかり、平成18年
に国史跡に指定されました。

これに伴い「くるべ古代歴史館」が建設され、
2018年3月25日（日）にオープンしました。この歴
史館では、『日本書紀』や『続日本紀』『万葉集』に
記された、西暦672年の「壬申の乱」や740年の「聖
武天皇の東国行幸」の舞台となった久留倍官衙遺跡
を、広く市民の方々に楽しんでもらえるよう展示を
行っています。また、当時が再現された衣装があり、
無料で着ることができるようになっています。平安
時代にタイムスリップしてみたいはいかがでしょうか。



大切なあなたの大切な一日のはじまりに



みえの朝ごはん

Breakfast at PLATON HOTEL

TEL.059-352-0300
四日市市西新地 7-3

facebook icon @platon.hotel
LINE icon プラトンホテル四日市

文部科学省
地(知)の拠点 文部科学省「COC事業」最終年度
これからも、地域とともに

2014年度に文部科学省の採択を受けた「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」。今年度、いよいよ集大成を迎えます。産業と環境の調和をめざす四日市に拠点を置き、「産業振興」「環境」「人材育成」をテーマに、四日市大学はこれからも活力ある地域づくりへの貢献をめざします。

学校法人 暁学園
YOKKAICHI UNIVERSITY
四日市大学

COC事業専用サイト
<https://coc.yokkaichi-u.ac.jp/>
学生情報局サイト
<https://coc.yokkaichi-u.ac.jp/gakusei/>

[担当窓口] 社会連携センター TEL 059-340-1927

【臨港道路 霞4号幹線 走行】

四日市港と伊勢湾岸自動車道みえ川越IC(インターチェンジ)をつなぐ臨港道路「霞4号幹線」が4月1日に開通しました。国が457億円の総事業費を投じ、14年間にわたる工期を経ての完成。港へのアクセス向上や国道23号をはじめとする周辺道路の渋滞緩和が期待されます。

霞4号幹線は延長約4.1キロ、片側1車線の2車線道路。みえ川越ICから港までの所要時間は開通により、従来の14分から9分に短縮されます。

愛称は、四日市港を近代化した稲葉三右衛門の「いなば」と臨港道路をイメージした「ポートライン」を組み合わせた「四日市・いなばポートライン」です。

【霞ヶ浦テニスコート 見学】

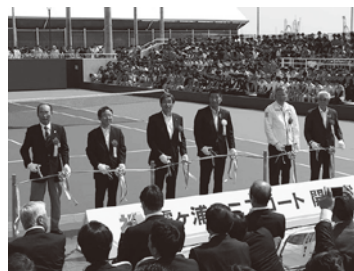
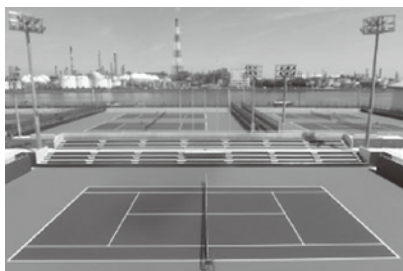
2018年5月に、霞ヶ浦テニスコート(三重県四日市市大字羽津甲)がオープン。同地には1970年(昭和45年)の日本万国博覧会(大阪万博)から移設されたオーストラリア館(観光、イベント施設)がありましたが、老朽化により閉館し、その跡地に新たに建設しました。

屋外ハードコート8面と屋根付ハードコート8面で、サーフェスはすべてUSオープンと同仕様、同カラーを採用しています。

メインコート(センターコート)には1017席・サブコートには470席の観客席・そのほかの屋外コート6面には計555席・屋根付きコート8面には計740席。各コートに観客席があることは一般的に見て珍しく、この施設の特徴の一つです。

テニスの全国大会や国際大会が開催されている公共施設には、有明テニスの森(33面)、ITC靱テニスセンター(16面)、ブルボンビーンズドーム(13面)、東山公園テニスセンター(20面)、長良川テニスプラザ(17面)、広島広域公園テニスコート(20面)、博多の森テニス競技場(20面)などがありますが、霞ヶ浦テニスコート16面と四日市ドームの屋内コート(屋根付き含む)20面(ハードコート8面+砂入り人工芝コート12面)を合わせると36面となり、その中で最大数です。

今年8月に東海インターハイ(平成30年度全国高等学校総合体育大会~2018彩る感動 東海総体テニス競技)が開催され、3年後の2021年には三重とこわか国体(国民体育大会テニス競技)の舞台となることが決まっています。



真心でおくる「市営式場の家族葬」も年中無休24時間受付中

株式会社 ふじや本店

光倫会館

☎0120-114248

【本社】四日市市松本町北大谷2015 北大谷斎場口
TEL:059-351-1151(代) FAX:059-351-4224

北勢地域で創業90年
ご要望に丁寧にお応えします。

ATKE

阿竹印刷工業株式会社
〒510-8016 四日市市富州原町14-24
TEL 059-365-3125

タウンミーティング



森市長によるタウンミーティングが昨年に引き続き各地区で実施されています。

市からのテーマは「シティプロモーション～もっと四日市を好きになってもらうために～」と
地区からは、地域における課題や市制に期待することを意見交換しています。

10月までに24地区で行われたタウンミーティングの内容をご紹介します。

開催日	地区	地区テーマ	発表者
5/11	海蔵	地域福祉相談窓口周知の必要性と民生委員と地域福祉のかかわり	海蔵地区民生委員児童委員協議会会長 水谷之彦
5/19	富洲原	富田一色の「空き家」を活用したまちづくり	富洲原地区まちづくり推進協議会空き家部会部長・富田一色連合自治会副会長 鈴木哲夫
5/25	内部	内部地区まちづくり構想より	内部地区連合自治会会長 伊藤頼夫
5/31	河原田	子どもや高齢者にやさしい環境づくり	貝塚町自治会会長 今村正明
6/4	四郷	地域コミュニティーの崩壊をくい止める地域のきずなづくりについて	高花平小林町連合自治会会長 澤山至宏 四郷連合自治会会長 伊藤 哲 笹川連合自治会会長 朝妻泰孝
6/26	八郷	あなたも わたしも 活躍できる まちづくり	八郷地区まちづくり構想実行委員会委員 小崎万理子
6/30	川島	真の「子育てしやすい四日市」の実現に向けて	かわしまっこもりあげ隊（まちづくり青年協議会） 会員 小坂奈央
7/6	保々	新保々工業団地の整備について	保々地区連合自治会会長 田中 貴
7/12	桜	将来の高齢者に対する交通手段について	桜地区連合自治会会長 岡本宏明
7/19	日永	防災について	日永地区自主防災協議会会長 松岡武夫
7/24	楠	ずっとこのまちで ～もっと四日市を好きになるために～	楠地区社会づくり推進協議会会長 中村克義
7/28	小山田	小山田地区の将来ビジョンについて	小山田地区連合自治会副会長・ 小山田地区まちづくり構想策定委員会副会長 井上 進
7/31	下野	下野地区の歴史的財産、資料の保存、 展示について	下野地区連合自治会会長 藤谷克彦
9/1	塩浜	塩浜地区の現状について	塩浜地区連合自治会議長 石田清延
9/8	常磐	資源物の持ち去りを減らすために	常磐地区連合自治会副会長 横田紘治
9/19	中部 (共同・同和・ 中央・港・浜田)	災害時における拠点づくり	浜田地区連合自治会会長 山路和良
9/27	橋北	地域内学校の児童生徒の減少と対策について	橋北中学校PTA会長 児玉浩也
10/5	県	県地区への四日市市中学校給食センター 設置について	県地区連合自治会副会長・ 県地区まちづくり委員会副会長 大西 始
10/16	富田	富田まちづくり構想の実現に向けた、 地域地区別構想の実施の促進について	富田地区まちづくり協議会会長・ 富田地区連合自治会会長 田中久幸
10/25	羽津	霞ヶ浦駅前の整備および周辺の活性化について	羽津地区連合自治会副会長 西脇良孝

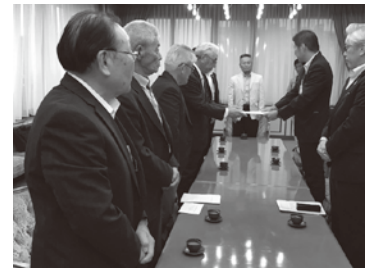
自治会加入促進条例の要望書を四日市市に提出

9月20日、四日市市自治会連合会役員7名にて、森市長に「自治会の加入促進と活動推進のための条例策定」の要望書を提出しました。

少子高齢化、核家族化、集合住宅の増加により、地域コミュニティが希薄になり、自治会未加入者が増えてきています。

昨今、多発する自然災害への防災や高齢社会、子どもの見守り等、多様化する地域課題に取り組むため条例制定を要望しました。

未加入者を把握できないことが、災害時の大きな穴となりかねない。と水谷会長は危惧しています。来るであろう南海トラフ巨大地震などさまざまな災害に対し最小限の被害で乗り越えられるよう地域の住民皆様の協力体制をしっかりと築いていなくてはなりません。そのために果たす自治会の役割は重要です。条例を策定することで、自治会の組織を強固なものとし、地域住民が安全で安心して暮らせるよう図っていきたいと思います。



[事例紹介]自治会を子どもから大人まで身近なものに ～地引網体験

自治会をもっと知ってもらおうと、9月2日（日）に楠地区では、地域活動事業の一環として、楠地区連合自治会と四日市市の共催で地引網体験を開催しました。

三重県職員による伊勢湾の魚についての勉強会のあと、待望の地引網の始まりには、中学生がほら貝を鳴らし、参加者は二手に分かれ、力を合わせ重たい網を力一杯引っ張りました。

地引網の終了後は、自治会が用意したバーベキューや捕れた魚をその場でお刺身にして食べたりと、家族が楽しく最後の夏休みを堪能することができました。

昔から漁が盛んに行われていた楠町南五味塚海岸、楠漁港は今でも、きれいな砂浜が残っており、楠地区ならではの、行事で子どもたちにも、「自治会」を身近なものだと感じてもらい、自治会の存在をPRしてもらおうことができました。

参加者から一言

「私は、初めて地引網漁を体験しました。地引網漁は、みんなの力を合わせて網を引っ張らなければできない漁だと知りました。友達と一緒に地引網をしたり、知らない人と話をしながら食べた魚のおさしみや焼きそばは、とてもおいしくて、おなかいっぱい食べました。自治会の方に企画してもらったイベントで色々教えてもらったり、知らなかった楠の事が分かって楽しかった。また次も参加したいです。」



あかり
(坂倉朱里さん)



平成30年7月豪雨（西日本豪雨）義援金の協力について

平素は、当会の運営にご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

四日市市自治会連合会では、この度の平成30年7月にありました西日本豪雨の災害義援金を募集し、10月末付で締め切らせていただいております。

今後、義援金を取りまとめて、被災された3県（岡山・広島・愛媛）の被災者に届けるようにいたします。

自治会員である皆さまに、趣旨をご理解いただき、ご賛同いただけましたこと、心よりお礼申し上げます。

早め早めが
ポイントです!

避難行動について考えてみませんか？

四日市市内でも増加している大雨や土砂災害などによる被害を防ぐため、市では災害発生の恐れがある場合は、市民の皆さんにさまざまな方法で避難情報などを提供しています。大切な生命を災害から守るため、テレビやラジオなどの情報のほか、市からの情報を積極的に取得し、適切な避難行動をお願いします。

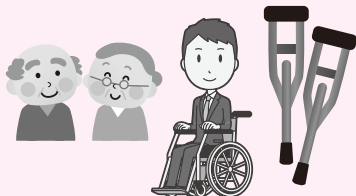
弱

危険度

強

避難準備・高齢者等 避難開始 (※1)

人的被害が発生する
可能性が高い場合



避難に時間がかかる人は
避難を開始してください

避難勧告

人的被害が発生する可能性が
明らかに高い場合



通常の避難行動ができる人も
避難を開始してください

避難指示（緊急）

人的被害が発生する可能性が
非常に高い、または、
人的被害が発生した場合



至急避難を完了するか、避難を
していない人は、最低限、
命を守る行動をとってください

※1 「避難準備・高齢者等避難開始」とは、今後、避難勧告が発令される可能性が高い時に、市民の皆さんに避難の準備を促すものです。また、高齢者や体の不自由な方など、避難に時間がかかる人が避難を開始する段階です。避難に関する情報は、「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」があり、危険度に応じて発令されます。

※2 命を守る行動とは、避難所へ移動する以外にも、外へ避難することが危険な場合は、ご自宅の2階など、より安全な場所へ行くなど、一人ひとりが状況を見て、一番安全だと思う避難行動を取ることです。

《編集後記》

四自連だよりは、四自連の事業や、四日市市と協働で行っている活動を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会は、市内のいろいろな地域活動や、課題解決していくために情報交換できる場として今後も活動していきたいと思っております。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
TEL・FAX 059-354-8287